

記録表発行日	2019年11月13日	検印 <b>米田</b>
注番	K -	

**クローラードンプ  
機械受入検査記録表**


**中京重機株式会社**  
 〒465-0057 愛知県名古屋市長区陸前町1705  
 サービス部 フィールドサービスグループ  
 TEL : 052-701-5191 / Fax : 052-701-5193

メーカー名	コマツ	型式	CD110R-1	機械所有者	様				
製造(シリアル)番号	1247	アワメーター	8008Hr	検査年月日	2019年11月6日(水)				
エンジン型式	SAA6D108E-2	検査者名	筑摩	検査実施場所	本社内 日進ヤード ( )				
エンジンシリアル	30553	特自検	特自検ステッカー 有・無 / 点検日 年 月 / 点検者						
区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	評価	備考			
エンジン	1	本体	a. 始動/停止性	かかり具合、異音、予熱栓・ヒーターの作動、ソレノイド	目視 or 操作 or 聴診	A B <b>C</b> D E	黒煙		
			b. 回転の状態	アクセルの作動、回転具合		A B <b>C</b> D E			
			c. 排気の状態	排気色、排気音、吹き返し、マフラー外観の欠陥によるガス漏れなど		A B C <b>D</b> E			
			d. ブローパイガス	漏れ具合、漏出量		A B <b>C</b> D E			
			e. エアークリーナー	ケースの亀裂、変形、エレメントの汚れ、損傷		A B <b>C</b> D E			
			f. 過給機(ターボ)	異常振動、ガス漏れ、潤滑油漏れ		A B <b>C</b> D E			
			g. エンジン圧縮	エンジン内部コンプレッション圧計測		測定器を使用して 測定		A B C D E	Mpa
			h. 背圧	ブローパイ量の計測		測定器を使用して 計測		A B C D E	0.9L/min
エンジン	2	潤滑装置	油量、汚れ、白濁、油漏れ、エレメントの汚れ(滲み)、損傷	目視	A B <b>C</b> D E	ゲージ 			
	3	燃料装置	燃料しみ漏れ、詰まり	目視 or 触診	A B <b>C</b> D E				
	4	燃料タンク	ドレンコックから水抜き実行、燃料の汚れ具合	目視	A B C D E				
	5	燃料油種	<u>軽油</u> ・ 灯油 ・ A重油 ・ 茶灯油	目視 or 嗅診					
	5	冷却装置	a. クーラント	水量、濃度、汚れ (サブタンク水量: 満・中・少・無)	目視 or 触診	A <b>B</b> C D E	クーラント濃度-40°C		
			b. 水漏れ	ウォーターホース、ドレンバルブ、キャップ機能チェック		A B <b>C</b> D E			
			c. ラジエータ	外側コア(フィン)の目詰まり、汚れ、凹み、水漏れ		A B <b>C</b> D E			
d. オイルクーラー			外側コア(フィン)の目詰まり、汚れ、凹み、オイル漏れ	A B <b>C</b> D E					
e. ベルト/ウォーターポンプ			たわみ、摩耗、損傷、ガタの有無と程度	A B <b>C</b> D E					
f. 水温計	正常(適温)表示	良   不良							
g. その他	ファンカバーやダクトの亀裂有無・損傷及び変形など	A B C D E							
6	電気装置	オルタネータ機能、バッテリー液量、ターミナル緩み、腐食	目視 or 触診 or 電圧計	A B C D E	電圧 約24V(ボルト)				
		搭載バッテリー型式 ⇒ [ ]	目視						
走行装置	7	走行コントロール	前後発進停止、左右操舵	操作	A B <b>C</b> D E				
	8	起動輪・遊動輪	クラック、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付ガタ、油漏れ	目視 or 触診 or 聴診 or 探傷剤	A B <b>C</b> D E				
	9	上部ローラー・下部ローラー	クラック、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付ガタ	目視 or 触診	A B <b>C</b> D E				
	10	履帯	ゴム	欠け、劣化、摩耗、亀裂傷、スチールコード切断、損傷、心金脱落、たわみ	目視 or 触診	A <b>B</b> C D E			
			鉄 / PAD	(シュー)クラック、変形、摩耗、シューホルト・ナット取付緩み、リンク・ブッシュクラック/欠け、ヒッチ伸び、たわみ、固着					
	11	履帯調整装置	作動、調整ボルト損傷、変形、腐食、摩耗、シリンダー油漏れ	目視 or 操作 or 探傷剤	A B <b>C</b> D E				
	12	走行減速機	油量、異音、異常発熱、ケースクラック、損傷、油漏れ※減速機の油量チェックは必須の事	目視 or 聴診 or 触診	A B <b>C</b> D E				
作業装置	13	ベッセル	クラック、 <del>破</del> 打ち、 <del>凹</del> み、亀裂、穴空	目視 or 触診 or 探傷剤	A B C <b>D</b> E	凹み 波打ち			
	14	ダンブシリンダー	油漏れ、内部リーク、傷、劣化	目視 or 触診	A B <b>C</b> D E	劣化			
	15	旋回装置	ガタ付き、流れ、異音、		A B <b>C</b> D E				
	16	クレーン	乱巻き、キンク、ジブガタ、固着		A B C D E	無し			
	17	上部作業装置(ヒアブ等他)	ガタ付き、変形、摩耗、損傷、油漏れ、欠損		A B C D E	無し			
油圧装置	18	作動油タンク	残油量(適量・中・少・無)、ゲージの汚れ		目視	A B <b>C</b> D E			
	19	配管類(高・低圧油圧ホース・パイプ)	クラック/亀裂、劣化、損傷、ひび割れ、油漏れ、フック/ホル	目視 or 聴診 or 触診	A B C D E				
	20	コントロールバルブ	油漏れ、異音、詰まり	目視 or 聴診 or 触診	A B C <b>D</b> E				
	21	油圧メインポンプ	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱、吐出異常	目視 or 聴診 or 触診	A B <b>C</b> D E				
操作	23	操作(レバー)	操作制度、反応、安全装置	操作					

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	評価	備考
安全装置・車体関係等	24	座席(調整機構、座面、背もたれ)	座席調整、ロック作動、取付ガタ、損傷、穴あき	目視 or 操作	A B C D E	
	25	昇降設備	亀裂、損傷、変形、取付ガタ	目視	A B (C) D E	
	26	灯火装置、警報器、方向指示器、ワイパー	作動状態、取付ガタ、レンズ破損、浸水	目視 or 操作	A B C D E	ウォッシャータンク割れ
	27	計器類	作動状態、取付ガタ、レンズ破損	目視 or 操作	A B (C) D E	ACフィルター不良
	28	セキュリティ [ 有 ・ 無 ]	イモビライザー、電子Key、隠しスイッチ、パスワードなど	操作	有 (無)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	29	反射鏡、後写鏡	汚れ、損傷、破損	目視	A B (C) D E	
	30	給油脂	給油脂状態、自動給脂装置作動	目視 or 操作	A B (C) D E	
	31	キャビン(ガラス)	亀裂、変形、腐食、雨漏り、ドア開閉、ロック、キー作動、ガラスのガタつき、破損	目視 or 操作	A B C D E	
	32	レバー、ペダル	効き、操作、変形、損傷、はずれ	目視 or 操作	A B (C) D E	
	33	旋回減速機	異音、異常発熱、油量、汚れ、油漏れ、取付ガタ	目視 or 聴診 or 触診 or 操作	A B C D E	

実機機械状態から具体的な検査結果報告(特記事項がなければ未記入で可)を記載の事

No. 1	エンジンから黒煙有り、エンジンリアシールからオイルしみ、噴射ポンプ燃料漏れ マフラテールパイプ穴有り ベルト劣化
No. 2	
No. 3	
No. 4	
No. 5	
No. 6	
No. 7	
No. 8	
No. 9	
No.10	
No.11	
No.12	
No.13	凹み、波打ち有り
No.14	ダストシール劣化
No.15	
No.16	
No.17	
No.18	
No.19	
No.20	コントロールバルブオイル漏れ
No.21	
No.22	
No.23	
No.24	
No.25	
No.26	ウォッシャータンク割れ
No.27	ACフィルター 切り替えスイッチ欠損
No.28	
No.29	
No.30	
No.31	
No.32	
No.33	

- 備考
1. 検査方法欄に実施した内容を○で囲み、5段階評価の中で該当する程度・状態を○で囲む。
  2. 検査結果に異常があった場合には、右頁の該当番号欄へ具体的な不具合結果を記入の事。

**概要評価基準**

- A: 新品に近く非常に良好な状態の場合
- B: 摩耗・損傷が少なく良好な状態の場合
- C: 稼働時間相当の摩耗・損傷があるが、継続使用が可能な状態の場合
- D: 稼働はするが修理が必要な状態の場合
- E: 即修理をしないと稼働しない状態の場合

**個別評価基準(残存率による評価の場合は%を参照)**

- A: 新品に近く非常に良好な状態の場合 / 100~90%
- B: 摩耗・損傷が少なく良好な状態の場合 / 90~70%
- C: 稼働時間相当の摩耗・損傷があるが、継続使用が可能な状態の場合 / 70~40%
- D: 稼働はするが修理が必要な状態の場合 / 40~20%
- E: 即修理をしないと稼働しない状態の場合 / 20~0%

- ・ エンジンオイル、エレメント交換
- ・ 燃料エレメント交換
- ・ エアーエレメント交換
- ・ ファンベルト & Vベルト交換
- ・ マフラーテールパイプ穴補修
- ・ ACフィルター交換
- ・ AC切り替えスイッチ欠損取り付け
- ・ エンジン噴射ポンプ油漏れ修理
- ・ エンジンリアケースドレン漏れ修理
- ・ ウォッシャータンク割れ修理

※着手後に内容の追加や変更が発生する場合がございます。

